

平成 27 年度第 9 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「投網体験と霞ヶ浦の豊かな魚たち」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 9 月 27 日（日） 9 時 00 分から 14 時 10 分まで

開催場所：稲敷市和田公園および妙岐の鼻，土浦市霞ヶ浦総合公園ネイチャーセンター

参加者：44名

いつも天候に恵まれる霞ヶ浦自然観察会ですが、今回は天候に振り回されてしまいました。霞ヶ浦環境科学センターを出発する際は、雨は上がっており、その後天気は回復するとの予報に安心して出発したのですが、観察地に到着する直前に雨が降り出し、和田公園駐車場に着いたころには本降りの雨になってしまいました。

参加者のみなさまに、早めに昼食を取っていただいたりして、雨がやむのを待ったのですが、雨がやむ気配はなく、結局、投網体験は断念することになりました。一番の目的が果たせず、参加者のみなさまには大変申し訳ありませんでした。

急ぎよ、近くにある妙岐の鼻に移動し、この湿原で見られる貴重な鳥類や植物について、腰塚パートナーと江川パートナーから説明していただきました。

初めて妙岐の鼻を訪れた参加者の方は雄大な湿原の景色に感動していましたが、投網を楽しみにしていた子どもたちの気持ちを満たすことはできず、せめて魚をたくさん見てもらおうと、多くの魚が展示されており、霞ヶ浦の風景も楽しめる土浦市霞ヶ浦総合公園にあるネイチャーセンターに移動しました。土浦まで戻ると皮肉にも雨は上がっており、展示されている魚を観察したり、土浦入りに浮かぶ帆引船を眺めたりして過ごしました。

今回は残念ながら投網体験はできませんでしたが、次回の第 10 回観察会では釣りによる魚の観察に併せて、今回できなかった投網体験も行うことにしました。次回の観察会は絶好の秋晴れの下で行われることを願っています。ぜひ御参加下さい。

参加者のみなさま、パートナーのみなさま、本当にお疲れ様でした。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子の一部を御紹介します。



和田公園駐車場，無情の雨です。



妙岐の鼻に移動しました。



腰塚パートナーから妙岐の鼻の湿原について御説明いただきました。



土浦市霞ヶ浦総合公園ネイチャーセンターです。



観光帆引船が出ていました。



公園のランドマーク、水車。